

【A】

平成23年度

連携による弊社の新規事業

平成23年5月

西光エンジニアリング(株)・(株) 沖 友

- 弊社は脱サラして起業したベンチャー企業で、「ニッチ業界の専用機」を設計・製作してまいりました。
平成19年度より「新連携」「農商工連携」「地域資源」の三事業の認定をベースに多くの方々々と連携した新規事業を展開しています。
- 「新連携」と「農商工連携」で連携している5社は、10年以上の付き合いの有る親しい企業で、連携して「付加価値商品とその製造装置」を開発し、経営改善を目指した挑戦を計画して来ましたが、構想や商品サンプルはできても「高額な開発資金の捻出と負担割合」等で足踏み状態が続いていました。
- 経済産業省の事業を知り、「事業期間中は売上が半減する覚悟で、将来の為に積上げてきた夢をこの事業で実現したい」と銀行の了解を得て取り組みました。
- 「ものづくり」は得意でも、開発や量産化の資金調達や販売が不得手な小規模中小企業に対し、開発資金の助成から販路開拓までを複数年継続して支援して頂けるこれらの事業は誠にありがたく、認定を頂いた後は停滞していた夢が現実的な事業計画に生まれ変わり、連携各社は社運をかけて取組んでいます。
- 系列会社(株)沖友の「地域資源」と共に、事業計画による商品化の作業は平成22年度で終了し、平成23年度からは本格的な販路開拓を行います。展示会等では十分な手ごたえを感じております。

Ⅰ. 西光エンジニアリング(株)の概要

【 経営目標 】

「知財」を優先する「マイクロビジネス型企業」を目指す。

西光エンジニアリング(株)と系列会社(株)沖友

設計会社、鉄工場、組立工場、ソフト開発や電装会社、配管工事などの下請け企業が集合して西光エンジニアリング株式会社を設立しました。

名 称	西光エンジニアリング株式会社
所 在 地	静岡県藤枝市高柳3丁目30-23
TEL・FAX	TEL:054-636-0311 FAX:054-635-5005
代 表 者	代表取締役 岡村 邦康 oka@seikoeng.jp
資 本 金	1,500万円(500万円:H21.6月 しずおかスタートアップファンド)
設 立	1987年(昭和62年)10月
関 連 会 社	株式会社 沖友 所在地:静岡県藤枝市高柳3丁目30-23 代表取締役 TEL:054-636-3700 FAX:054-637-1881 岡村邦康 資本金:2,000万円 設立:1998年12月
ホームページ	http://www.seikoeng.jp

事業の概要（既存事業の先行き不安から新規事業で上積み計画）

【既存事業】

ニッチ業界専用機の製作

①専用機の設計・製作

伊藤園グループ：工場の専用機

不双産業：包装機の前後処理

②焙煎装置の設計・製作

伊藤園グループ：麦茶設備

アサヒ飲料：十六茶設備

（株）サンジーンティーワールド）

③乾燥機の設計・製作

水産物用：低温乾燥機

王子製紙：試験用乾燥機

④モスク加工装置の設計・製作

沖縄県の漁協：モスク洗浄機

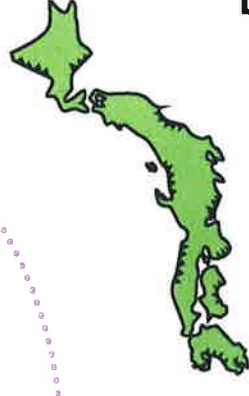
沖縄漁連：乾燥モスク設備

【新規事業】

+

連携企業及び支援企業
との連携による新規事業

- 1) 「新連携」により特殊乾燥機を開発・販売
- 2) 「地域資源」で開発した乾燥機で各地域の資源を付加価値商品に加工して流通・販売
- 3) 「農商工連携」によるモスクの付加価値商品の製造・販売
- 4) 「新連携」の連携企業を拠点に、その地域の資源を活用した付加価値商品により、機械と商品による「自前の流通」作りと「農商工連携型六次産業化」を目指します。



弊社の知財戦略

① 開発テーマを決定

- ・開発テーマ周辺の特許を収集し、開発の参考にする。
- ・この時点から「発明協会」に相談してアドバイスを受ける。
- ・「独自開発」か「実施権の取得等」かの方針を検討する。

② 開発から実用化

- ・開発が具体化するに従い調査の範囲を狭めて詳細に調査。
- ・最終的な実用化までこの作業を繰返して行う。

③ 周辺の知財調査

- ・実験機の製作時には特許出願を前提とする周辺調査を実施。
- ・この段階から弁理士と相談を始める。

④ 特許出願

- ・販売する装置及びその周辺はより広範囲に権利を取得する。
- ・請求の範囲、発明の詳細な説明、図面とその簡単な説明等の原稿は自ら作成し、弁理士が十分に理解した上で出願する。
- ・出願時には審査請求を行わない。

⑤ 審査請求

- ・実用化を決定した時点で「審査請求」を行う。
- ・「拒絶理由」に対し、①に戻り「改善による抵触回避（独自開発）」か「実施権の取得等」かの選択を行う。
- ・基本的には、権利を有しない商品の発売は行わない方針。

II. 新規事業に至った経緯

「ニッチ業界の専用機」では業績の伸び悩みが予想され
経済産業省の三事業を活用して新規事業を推進

西光エンジニアリング(株)の開発した装置と製造する商品

西光エンジニアリング(株)は乾燥や焙煎が得意です。



伊藤園の麦茶



アサヒの十六茶

これらの原料を製造する装置は、私どもが開発いたしました。

関連会社(株)沖友との連携で開発した代表的な商品

(株)沖友のアイデアを量産化する装置を西光エンジニアリング(株)が開発連携して商品化した **オリジナル商品** の代表作です。

乾燥モズク は食品部門のランキングで数年ベストテン！

(株)カタログハウスの通販生活には2つの開発商品と、2つのコラボ商品が掲載中です。

乾燥モズク



緑の杜仲茶

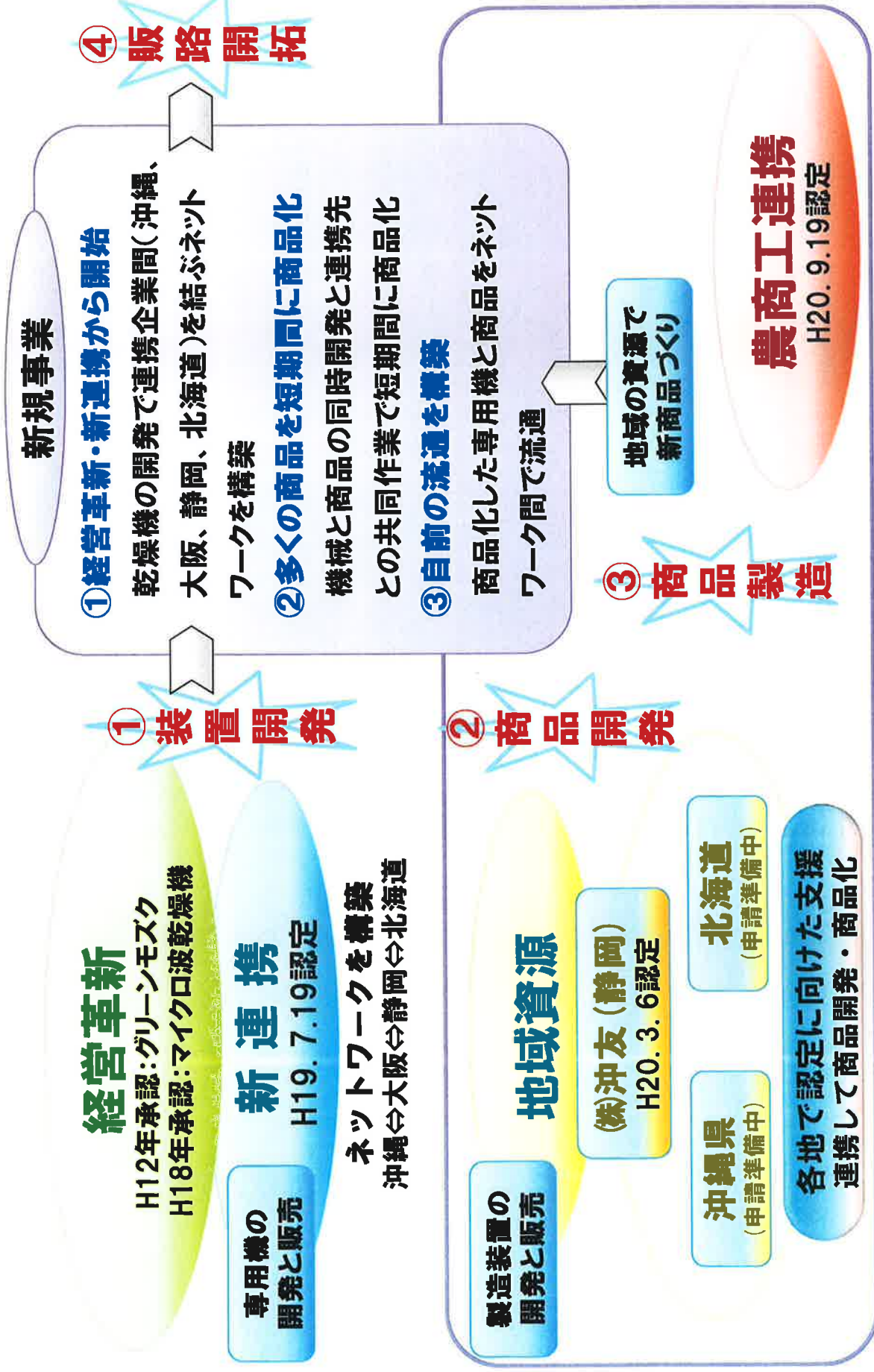


- 事業の拡大には焙煎装置、乾燥モズク以外の装置や商品が必要です。
- 「新方式の乾燥機と、この乾燥機で作る各地の資源の付加価値商品」
そして「乾燥機と商品による自前の流通」は長年の夢でした。
この夢の実現に向けて「新連携」「農商工連携」「地域資源」の事業に挑戦しています。

経営革新の承認から三事業の認定に向けての工程表

H 17年	H 18～3年事業	H 19年～5年事業	H 20年～5年事業	H 20年～4年事業
準備作業 ・ビジネスプラン ・基礎研究	#2経営革新 《H18.3.28承認》	新連携事業 《H19.7.19認定》	地域資源事業 ・新連携の連携先から 地域資源を申請	農工商連携事業 《H20.9.19認定》
西光エンジニアリング(株) 【乾燥装置】 熱風乾燥で 不満な部分を マイクロ波 加熱で解決	・マイクロ波紙管 乾燥機の開発 実験機の試作 ・電波漏れ防止 の研究 #1経営革新 《H12.5.31承認》 「グリーンモズク 機械開発と商品 の製造販売」	紙管 日本紙管工業(株) (大阪) 紙管乾燥機の実用化 ⇒H19量産化・販売 帆立 (株)しんや (北海道) ホタテ乾燥機の開発 ⇒H20実用化 モズク 沖縄漁連 (沖縄) モズク乾燥機の開発 ⇒H21実用化	北海道 (株)しんや 商品名:「ほたてスナック」 〈H23申請予定〉 沖縄 本部漁業協同組合 商品名:「もずくスナック」 〈H23申請予定〉 静岡 (株)沖友 商品名:「お茶スナック」 〈H20.3.6認定〉	紙管 H21ものづくり 「ラップ紙管の画像 処理装置の開発」 《H21.9.30探択》 沖縄 宮古島漁協 商品名:「半生モズク」 《H20.9.19認定》 静岡 H23 フーズ・サイエ ンスセンター 「膨化食品の商品化」 食品等開発研究会
【モズクの 販路拡大】 モズク新商品 の商品化と販 路拡大	連携体構築	地域資源の商品化	「農」と	
(株)沖友 【商品】 新商品開発	商品企画	商品見本製作		

三事業の活用状況(キーワードは「乾燥・マイクロ波加熱」)



新規事業の商品（機械・食品と流通）

事業名	①経営革新・新連携	②地域資源	③農商工連携
機械	1. マイクロ波紙管乾燥機 2. マイクロ波帆立乾燥機 3. マイクロ波モズク乾燥機	4. マイクロ波減圧乾燥機	5. マイクロ波計量乾燥機 6. 高度洗浄機
商品 (食品)	1. 乾燥モズク 2. 乾燥モズクのスープ 3. モズク・サブプリメント	4. 乾燥フルーツ・野菜 5. お茶スナック 6. モズク・スナック（沖縄県） 7. ホタテ・スナック（北海道）	8. グリーンモズク 9. 半生モズク 10. 宮古島モズク
流通	「静岡を本土拠点とし、沖縄と北海道を結ぶ自前の流通」を確保、六次産業化を目指す。		

<特許及び商標登録>

- 1) 機械は特許出願：総ての機械は特許を出願して権利を取得する。
- 2) 商品は商標や地域団体商標（宮古島モズク：漁協）を取得し、ネーミングを統一する。
モズク商品にはすでに取得している「もずくん」シリーズとしてブランド化を行う。

新規事業の商品による流通のイメージ図

自前の流通づくり

- ① 静岡から装置や商品をコンテナで沖縄及び北海道に送ります。
- ② リバースで地域資源や農工商連携の商品を静岡に輸送して一時保管します。
- ③ この繰り返しで静岡を本土拠点として沖縄と北海道を結ぶ自前の流通網ができます。

